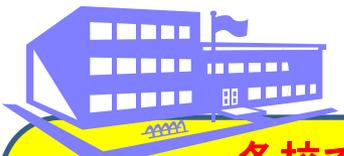


秩序と活気のある学びの場づくり支援

「アセス」とは

児童生徒が学校や学級に、どれくらい適応感を抱いているかをアンケートを通して測るツール

- ☆人間関係や学習がうまくいっているか
 - ☆生活全般に満足しているか
- をデータ化



各校での学校づくり

・3年計画での実践・まとめ ⇒ 体制構築
〔アセス書籍代 108千円(2500+税)×40冊〕

深井中学校区 各学期に1回実施

新規中学校区 2・3学期に各1回実施

- ☆いじめ・不登校等の防止・解決
- ☆静謐な教育環境 = 学力の向上

教師力の向上

教育相談G等による支援

- ① 研修の活用（優先受講）
 - ・危機対応研修
 - ・ストレスマネジメント教育研修
 - ・ピア=サポート指導者研修 等
- ② 大学教授等講師の派遣
〔講師謝礼金・旅費 683千円〕
 - ・アセス分析研修会(栗原教授)
 - ・アセス校内分析研修会
 - ・集団づくり研修会
- ③ 教育相談G員からの支援

いじめ、不登校等の課題の早期発見
心理尺度「アセス」の活用

平成26年度 実施パイロット校1校
～ 平成28年度 (深井中学校区)

平成27年度 新規2中学校区校による実践
～ 平成29年度

【事業費の想定】

平成26年度【542千円】

(深井中校区約1000人に実施)

平成27年度【791千円】

平成28年度【848千円】

【現時点での成果】

★児童生徒のことを感覚でとらえていたことが、数字やグラフで表されデータ化されるので、それに基づいた指導、助言等の相談活動が行うことが可能になった。

★教員の支援を必要としている児童生徒を、早期に発見することができ早めの対処ができた。

★教育相談や懇談で活用している。

【現時点での課題】

★夏季等の研修においては、「アセス」についての理解と使い方を知るうえで、大いに効果があったが、児童生徒個人に対する具体的支援や方策を立てるために、さらに専門家のサポート及びアドバイスが必要。

★各学校における「アセス」を活用した学校づくりのための、より具体的な年間計画策定が必要。

【今後の対処】

- 学校へのニーズに合った講師の派遣
- アセス検討会議等での子ども理解とかかわり方へのサポート
- 2回目アセス実施後の比較と検討